

●学生数11,000人 ●教員950人 ●職員300人 ●留学生3,500人

ホームページ <http://www.canberra.edu.au/>

交流協定締結年月日：2019年7月24日 主管学部：創造工学部



国際交流の特色

University of Canberra（キャンベラ大学）は、1967年に設立された総合大学である。Arts and Design、Business、Government and Law、Education、Health、及びScience and Technologyの5学科で構成され、大部分を職業教育に焦点を当てている。創立50年以下の若い大学のなかでは、世界17位であり、SDGsの指標の一つである「不平等を減らす」の目標では世界トップ5大学の1つと非常に高い評価を受けている。協定締結の要望は大きいが困難とされる英語圏オーストラリアの首都キャンベラにある大学で、国際インターンシップの枠組みを使い、院生の研究派遣を行って単位を認定することができ、教員及び院生の活発な研究交流が期待できる。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度	R4	R5	R6
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	1
研究者・職員の受入	2	1	1
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	2
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	1



学生からの声

2019年8月から12月の5ヶ月間、Faculty of Arts and Designに所属し、建築デザインについてのプロジェクトを行いました。キャンベラは治安が良いため暮らしやすく、朝夕にはキャンパス内でカンガルーやポッサムを見ることができ癒されること間違いありません。オーストラリアは多様性があることで知られており、街には様々な種類のレストランが立ち並び、バスに乗っても色々な言葉をしゃべっているのが聞こえてきます。人々は皆フレンドリーで、不安もどこかに吹き飛んでしまうくらいすぐに馴染むことが出来ました。

お互いを尊重する文化が根付いていることから、プロジェクトでは、自分の考えたことや感じたことをアイデアにおこして、まずは自分の意見を主張するということが求められました。そうすることで、その後、先生方・学生らとより良い案になるよう有意義なディスカッションを重ねることができ、最終案を大使館でプレゼンテーションする機会にも恵まれました。

本留学は、私が学部生の頃からしたいと考えていて、たくさんの方のサポートがあり実現しました。留学中も、「これがやりたい」と挑戦心を持って取り組んだことから、研究プロジェクトだけではなく、学部生へのレクチャーや香川をもっと知ってもらうためのうどん作り体験イベント、日本語会話講義など、たくさんの活動に主体的に取り組み、留学前には予想もしていなかった貴重な経験とたくさんの方々との繋がりを持つことができました。国際インターンシップは、挑戦したいことに思う存分時間を注ぎ、それが実現できるということを体感することの出来る貴重な機会になると思います。

工学研究科 村井颯希